

令和2年度宮津市総合教育会議（第1回）開催結果概要

日 時：令和3年1月26日(火) 午後1時30分～3時40分
場 所：宮津市福祉・教育総合プラザ(第4コミュニティルーム)
出席者：城崎市長、山本教育長、伊藤教育長職務代理者、田崎教育委員、尾崎教育委員、藤井教育委員、事務局職員

1 開 会（市長あいさつ）

2 議 題：次期の『宮津市教育大綱・教育振興基本計画』の策定について

〇：策定の議論の前に（現在の大綱・計画に係る進捗状況等に係る共有）

【資料0】宮津市教育委員会の所管する事務事業の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（令和元年度実施事業）からの抜粋

<意見交換等の概要>

- ◆点検評価委員の報告書では、「学校教育では、就学前からの小中一貫教育を中核に、学力向上プランの取組み、非認知能力育成等の研究指定、コミュニティ・スクールの導入などを一体的に進めていることを評価。不登校の問題について、その要因を分析する必要あり。」、「社会教育では、市民スポーツDAYの取組みのスタート、高齢者・障害者・人権教育に係る事業を着実に進められたことなどを評価。」、「文化振興では、生涯学習や学校教育とも深く関係する、文化財の啓発活動を充実させていくことに期待。」、「新型コロナウイルス感染症への対応について、学校が存在する意義を改めて見直し、今後活かす点検・評価をしていくかが課題。」と。
- ◆ここ数年間で、宮津の教育は大きく変わったと感じているし、環境をはじめとして大きく前進してきており、この歩みを更に加速させていければと思っている。
- ◆今後は、多様化への細やかな対応が必要であり、また、「共有」がポイントになる。

1：策定中の『第7次宮津市総合計画』に係る共有

【資料1】『宮津市総合計画（令和3年度～令和12年度）』（案）の概要

<意見交換等の概要>

- ◆テーマ戦略5「ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり」は、今後のまちづくりの柱となる「人づくり」であり、いろいろな意味での「教育」がポイントに。
- ◆生涯学習では、公民館活動と図書館の動きが大きな役割を担ってくると考える。
- ◆人口が少なくなっていく中で、少ないなりの良い部分やできることはあると思う。
- ◆宮津は観光地で英語にふれる機会が多いのに、大人はほとんど話せないのが現状。文化財なども含めて、大人が学べる環境が増えれば生涯の楽しみが増すと思う。

2：次期の『宮津市教育大綱・教育振興基本計画』の骨格について

【資料2】「教育大綱・教育振興基本計画の位置づけと期間」の検討に係る資料

＜意見交換等の概要＞

- ◆変化していく社会の中で、一人ひとりが主人公として活躍する豊かな宮津を担い創っていくのは、宮津に関わる全ての「人」であり、その「人づくり」のためには、市民が生涯にわたって学びを深めることにより、ふるさと宮津に誇りや愛着を持ち、将来にわたって宮津を支える人財を育成していく必要がある。こうした中で、『第7次宮津市総合計画』にあわせて教育大綱等をスタートさせ、教育行政の充実を更に図っていききたい。＜教育大綱等の策定にあたっての市長の思い＞
- ◆『教育大綱』と『教育振興基本計画』を一体のものにした方がわかりやすいし、あまり細かくななくシンプルなものにするべきと考える。また、細かい部分は毎年策定をしている『教育の重点』で示していくのが良い。

【資料3】「教育の基本理念（めざす人間像）と教育の振興に係る基本方針」の検討に係る資料

＜意見交換等の概要＞

- ◆一人ひとりが主人公として活躍する宮津を担い創っていくのは宮津に関わる全ての「人」。その「人づくり」、「教育」こそが明るく豊かな宮津を創り上げる源である中、「豊かな学びを深めてふるさとを愛する人づくり」を教育の基本理念、「ともに学び合い、変化していく社会で、挑戦し、ふるさと宮津への愛と誇りを持ち、明日の宮津を創造していく人」をめざす人間像に、「宮津の新しい教育」を。「協働」「挑戦と創造」「そして未来へ」をキーワードにして。＜事務局案＞
- ◆めざす人間像で、「変化していく社会の中で、」を前に持ってくる方が良いと思う。
- ◆①豊かな人生を創造する学びの推進（社会教育）、②明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成（学校教育）、③豊かな心と体を育む文化芸術・スポーツの推進（文化・スポーツ）、④誇りと愛着のある豊かな歴史文化の継承・活用（文化財保存・活用）の4つを教育の振興に係る基本方針に考えている。＜事務局案＞
- ◆「豊かな人生」の「豊か」については、人によって捉え方が異なるのではないか。例えば、「心豊かで生きがいのある」として、「心が充実した人生を送れるように」と捉えられるように、表現を工夫した方が良いと思う。
- ◆「宮津ならではの教育」について、「宮津の教育の特徴に係る言葉」を足すべき。
- ◆教育は、学校だけではなく、家庭や地域の支援などいろいろな要素が関係してくる。家庭が基本で、家庭ではできない部分を学校や地域がカバーし、一人ひとりを育てていくものではないか。そして、何かをやり遂げる力など人間力を育てていければ。
- ◆意識しなくても皆ができるレベルにするためには、しっかりと周知し、共通認識にすることが重要。そして、「自分事」にして、「自分の言葉」で伝えていけるように。

3 閉 会 ※大綱・計画の骨格までの議論が終了。次回は中間案の確定へ。